

科目ナンバリング		U-LAS02 10010 LJ36							
授業科目名 <英訳>	日本近代文学II Japanese Modern Literature II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 須田 千里				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	金3/金4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>この講義では、川端康成の代表作『山の音』(昭和29年)を取り上げ、作品世界をていねいに読解し、作品の素材、語句の注釈、用いられた技巧、作品内容、構造、主題を明らかにする。</p> <p>『山の音』の巧緻な語りと暗喩、性的な要素を分析する。その際、作品の背景や素材に注意しながら、冒頭から末尾まで丁寧に読むことを通じて作品を解釈する。</p> <p>受講生は教室にパソコンを持参し、Zoomの画面共有を通じて資料や教員の授業ノート(板書に代わるもの)を見るとともに、教科書を読む。教員の授業ノートは、授業後にLMSの授業資料に置くので、受講生は復習に利用する。</p>									
[到達目標]									
<p>作品世界をていねいに読解することで、成立過程、語句注釈、用いられた技巧、構造、主題などを理解し、作品の構造や主題を自分の言葉で語るができるようになる。これが目標である。</p>									
[授業計画と内容]									
<p>1 , ガイダンス。川端康成の経歴と文学。『山の音』15頁までの読解</p> <p>2 , 『山の音』45頁までの読解</p> <p>3 , 『山の音』75頁までの読解</p> <p>4 , 『山の音』105頁までの読解</p> <p>5 , 『山の音』135頁までの読解</p> <p>6 , 『山の音』165頁までの読解</p> <p>7 , 『山の音』195頁までの読解</p> <p>8 , 『山の音』225頁までの読解</p> <p>9 , 『山の音』255頁までの読解</p> <p>10 , 『山の音』285頁までの読解</p> <p>11 , 『山の音』315頁までの読解</p> <p>12 , 『山の音』345頁までの読解</p> <p>13 , 『山の音』375頁までの読解</p> <p>14 , 『山の音』末尾までの読解と補足説明</p> <p>まとめのテスト</p> <p>15 , フィードバック</p> <p>なお、読解の重要さによって進度が前後することがある。</p>									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
まとめのテスト(持込不可)100%で授業内容の理解度を問う。									
----- 日本近代文学II(2)へ続く -----									

日本近代文学II(2)

[教科書]

川端康成 『山の音』（新潮文庫）ISBN:978-4-10-100242-2
LMSにより資料を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

作品を事前に読んでおくことは当然。
主体的に取り組み、授業中の問いかけに積極的に応じること。
作品を読んで考えたことや意見、質問を積極的に示して欲しい。

[その他（オフィスアワー等）]

教室の規模のため、受講者数を制限する。

[主要授業科目（学部・学科名）]